

地方版図柄入りナンバープレートについて

愛知県春日井市

1 ご当地ナンバー導入の効果 新たな取組

■効果

導入に向けて、市、商工会議所、市民が一体となって取り組んだ。

■市民アンケート	希望する市民	68.6%
■春日井ナンバー実現協議会	当初 18 団体	→ 79 団体

郷土愛

連帯感

春日井ナンバー登録台数	H26年11月末	H27年6月末
	1,738台	21,399台(市内登録台数の約1割)

■今後の取組

1 交通安全施策への活用

「春日井ナンバー＝安全運転」のイメージを向上させるためのPRを実施する。

2 知名度の向上

春日井ナンバー車を市外で見かける機会が増えつつある。今後の登録台数の増加に伴い、全国での知名度は向上していく。

3 マーケティングへの活用

将来的に普及率が100%近くになれば、商店への来店者の傾向が分析できる。

2 地方版図柄入りナンバーの活用

図柄入りナンバー（デザインナンバー）…「春日井」（地名）だけでなく、その魅力もあわせてPRできる。



■活用方法と効果

1 『春日井の魅力』をデザイン 市外へのPR 郷土愛の醸成 普及の拡大

地元のデザイナーによるデザインコンペなど導入自体をイベント化する。

2 ふるさとへの愛着を表現 市外へのPR 郷土愛の醸成

市外ナンバーの自動車にも「春日井デザイン」のプレートを交付する。

3 「〇〇宣言」+ デザインナンバー 運転マナーUP

「安全運転宣言」や「エコドライブ宣言」などを行った市民に対し、デザインナンバーを交付する。宣言の実効性を高めるために、事前に講習会を実施する。

4 企業とのタイアップ 普及の拡大 企業イメージUP

民間企業の協力を得て、春日井のデザインナンバーを装着した自動車に特典を付与する。
(コーヒー1杯など)

3 寄付金付き図柄入りナンバーの活用

■活用方法と効果

1 交通安全・環境保護 やさしさをPR ステータス 企業イメージUP

寄付金を交通安全や環境保護など特定の目的に活用する。

「デザインナンバーの着用」は「目的への賛同」を意味する。運送業やタクシー事業者への効果が期待できる。

2 ふるさと寄付金 郷土愛の醸成

市外ナンバーの自動車に交付する春日井デザインのプレートに寄付金を設定する。寄付金は、ふるさとへの貢献の意義を持つ。

4 選択制についての意見

■色、デザイン、自動車の種類など好みは千差万別

■デザインナンバーを幅広い世代で着用してもらうため、複数のデザインから選択できるのが理想的（3種類程度）

➡ 導入までの所要時間とのバランスで判断すべき

5 制度設計についての意見

1 自由なデザイン

ナンバープレートのデザイン上の制約を極力少なくしてください。（毛筆体を認めてください。）

2 緑ナンバーへの着用

緑ナンバー（事業用車両）にも図柄入りナンバーを認めてください。

3 寄付金付きの導入

各自治体で活用できる寄付金付きの導入を認めてください。

4 交付手数料

図柄入りナンバーに寄付金以外の交付手数料を上乗せしないようにしてください。

5 市外ナンバー車への着用

市外ナンバー車も「春日井」の図柄を使用できるようにしてください。